

県民先生シリーズ ～様々な分野で活躍する地域の人々～

皆さん、学校で講義をするのは先生だけだと思いませんか？福井県には、地域で活躍している方々がたくさんいらっしゃいます。「瓢箪」という一つの植物を極めた方、福井を走る鉄道について独自に研究を深めている方、農業の魅力発信に向けて新たなチャレンジを続けている方、花いっぱい地域づくりに向けて活動されている方など、年齢・性別・分野問わず、実に様々です。
この講座では、こうした県民の方々を先生に、それぞれが活躍されている分野の興味深いお話について講義をいただきます。

【定員】 各回30名 **【対象】 一般**

【第1回】 瓢箪文化は心の糧 —瓢箪の歴史と文化・もたらされる心の充実—

日時 11月11日(日) 13:30~15:00 場所 永平寺キャンパス 地域経済研究所
講師 森 義夫 (全日本愛瓢会 名誉会長)

【大正15年生まれ。福井県農業試験場次長、福井県立短期大学付属農場長を歴任。】

概要 瓢箪はもともと丸い植物であったということ、皆さんはご存じですか？瓢箪は人類の歴史における様々な場面に登場します。瓢箪がこれまで我々にもたらしてくれたものとは。そして、これから先もたらしてくれるものは何か。そんな話ができればと思っています。※ロビーで瓢箪の工芸作品の展示を予定しています。

【第2回】 花と緑があふれる日常 —今、日本人に必要なものは何か—

日時 11月21日(水) 18:30~20:00 場所 永平寺キャンパス 地域経済研究所
講師 三国 哲弘 (FLOWER SHOP KAICAEN 代表)

【福井県立短大を卒業後、フラワーデザインを学び32歳で独立。途上国で環境問題に取り組む重要性に気付く。新たに路面店を開き、代表を務めながら福井県花商協同組合理事長も兼務。】

概要 日本という国は恵まれた国です。欲しいものはすぐ手に入り、水や電気も自由に使える、何不自由なく暮らすことができます。しかし今、日本では心のバランスを崩してしまう人が年々増加しています。花と緑に囲まれた生活が私達に与えてくれるもの、その重要性について、花を介した国内外での経験も交えてお話しします。

【第3回】 大正期における福井市内の環状電気鉄道計画 —百年前の鉄道計画が、今に語りかけるものは何か—

日時 11月28日(水) 18:30~20:00 場所 AOSSA 602
講師 小谷 正典 (元丸岡高校校長)

【地域と鉄道の関わりに興味を持ち、退職後、県立大学大学院に入学。71歳で博士号取得。】

概要 明治期の鉄道計画は、全国的流通網を形成して近代的な産業の発達に資するというのが主な目的でした。大正期には、産業の発達に加えて観光、通勤、生活など都市内・都市間における新しい要素が発生します。「幻の環状電気鉄道」とはどんなものか、現在の福井市街地との関係から考えます。

【第4回】 農業のわくわくを伝えたい！ —カメハメ八大農場の農家カフェのチャレンジ—

日時 12月8日(土) 13:30~15:00 場所 永平寺キャンパス 図書館ロビー
講師 藤井 和代 (カメハメ八大農場の農家カフェ代表)

【福井県立短大を卒業後、保健師、臓器移植コーディネーターを経て、脱サラし「農家カフェ」を起業。】

概要 脱サラして農業の世界に飛び込み、農業で3K(かわいい、環境に配慮、稼げる<継承>)を目指して、栽培から加工まで、様々な取り組みを続けてきました。この講座では、こうした当社の農業経営のお話しを中心に、県と連携して進める「新手土産スイーツプロジェクト」についてもご紹介いたします。

※新商品「ふくいトマト水ようかん」の試食を予定しています。

会場が変更になりました！

参加申込書

所属		代表者	
所在地		TEL	
氏名	参加希望 (○を付けて下さい)		
氏名	第1回 ・ 第2回 ・ 第3回 ・ 第4回		

【問合せ・申込先】 福井県立大学 (〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1)

交流・研究支援部 連携・研究推進課 担当：松本、白崎

(TEL) : 0776-61-6000 (代) 内線 1074 (FAX) : 0776-61-6011 (E-mail) : openfpu@fpu.ac.jp